

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 25

2009年1月19日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

★今回の“静大ラボ紹介”は、平川和貴研究室です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「相談会」やらまいか！のご案内
2. 「知的財産権の取得と活用」セミナーのご案内
3. 「サイエンスカフェin静岡」のご案内
4. 経済産業省/日本貿易振興機構（ジェトロ）セミナーのご案内
5. 「はままつメッセ2010」に出展します
6. 「情報検索」やらまいか！のご案内
7. 静大創立60周年記念「静岡大学・中日新聞連携講座」のご案内
8. 「東海iNET報告会」「第2回地域連携研修会」を開催します

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は○欄に@を入れてください。

1. 「相談会」やらまいか！のご案内

日時 2010年1月20日（水）13：00～17：00
会場 浜松市城北図書館
相談員 岩井敏雄氏（はままつ産業創造センター経営コーディネーター）
対象 起業や新規事業をお考えの方、中小企業経営者の方など
内容 起業・創業、経営相談など（1組1時間程度）
定員 1時～、2時～、3時～、4時～ の計4組
申込/問合せ先 浜松市城北図書館
E-mail chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp

2. 「知的財産権の取得と活用」セミナーのご案内

日時 2010年1月21日（木）14：00～16：00
会場 静岡県工業技術研究所 講堂（静岡市葵区牧ヶ谷2078）
講師 友野国際特許事務所所長 弁理士 友野英三氏
内容 研究者にとっての研究と発明、特許との関係を念頭に、
・先行技術調査の方法
・特許出願から特許取得までの流れとポイント
・知的財産創出の方法
・強い特許の条件
・知的財産権の活用 について、事例を交えて解説。
定員 40名
対象 公的機関研究者、企業研究者、大学教職員、学生 等
参加費 無料
詳細/申込 <http://www.chosakai.or.jp/seminar/univ2009/shizuoka20100121.pdf>
問合せ先 財団法人経済産業調査会事業部 TEL 03-3535-4881

3. 「サイエンスカフェin静岡」のご案内

日時 第36話 1月28日(木) 18:00~19:30
「芳香族化合物はなぜ安定か」
第37話 2月19日(金) 18:00~19:30
「植物油のはなし」
第38話 3月25日(木) 18:00~19:30
「原子核の内部を探る~ミクロな世界を支配する物理学~」
会場 B-nest静岡市産学交流センター6階プレゼンテーションルーム
主催 静岡大学理学部
参加費 無料 (申込不要)
詳細 <http://www.shizuoka.ac.jp/~rigaku/sciencecafe/index.html>
問合先 静岡大学理学部 E-mail sci-cafe@ipc.shizuoka.ac.jp

4. 経済産業省/日本貿易振興機構(ジェトロ)セミナーのご案内
「海外市場開発の新たな切り口としてのBOPビジネス」
~開発途上国市場の潜在的可能性と官民連携~

日時 2010年1月29日(金) 15:00~17:00
会場 グランドホテル浜松2階鳳西(浜松市中区東伊場1-3-1)
内容 「BOPビジネスとは何か」
佐藤寛 ジェトロ 貿易開発部 上席主任調査研究員
「BOPビジネスと日本企業」
菅原秀幸氏 北海学園大学 大学院経営学研究科 教授
「BOPビジネス先行事例と成功の秘訣」
平本督太郎氏 (株)野村総合研究所 副主任コンサルタント
「BOPビジネスと官民連携」
佐藤寛 ジェトロ 貿易開発部 上席主任調査研究員
定員 100名(先着順)
受講料 無料
詳細/申込 <http://www.jetro.go.jp>
申込締切 1月22日(金)
問合先 ジェトロ静岡(担当:西沢、畠山) TEL 054-352-8643

5. 「はままつメッセ2010」に出展します

日時 2010年2月4日(木)、5日(金) 10:00~17:00
会場 グランドホテル浜松2階 鳳の間
内容 ○記念講演「クオリア時代~日本のパワーは地域から~」
株式会社堀場製作所 最高顧問 堀場雅夫氏
○マーケティングセミナー「今世紀型、農村産業の創出!」
農事組合法人伊賀の里モクモク手づくりファーム
代表社長理事 木村修氏
○展示商談会 ほか
詳細 <http://www.hamatech.or.jp/messe2010/index.html>
問合先 (財)浜松地域テクノポリス推進機構
E-mail messe@hamatech.or.jp

6. 「情報検索」やらまいか!のご案内

日時 2010年2月10日(水) 10:00~12:00
会場 浜松市城北図書館
講師 小林 一雄氏

対象 (はままつ産業創造センター 特許情報活用支援アドバイザー)
内容 インターネットの操作ができ、特許制度に関心のある方
特許情報講習会【特許・実用新案 出願編】
初心者を対象として、商標制度の概要説明、検索方法の解説。
定員 6人(先着順)
申込/問合せ先 浜松市城北図書館 TEL 053-474-1725

7. 静大創立60周年記念「静岡大学・中日新聞連携講座」のご案内

日時 第5回 2月13日(土) 14:00~16:00
「未来のテレビはこうなる~画像工学の現在と未来~」
会場 静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館
参加費 無料
詳細/申込 <http://www.shizuoka.ac.jp/60th/images/chuu-simin-koza.pdf>
問合せ先 静岡大学生涯学習教育研究センター
E-mail LLCOipc.shizuoka.ac.jp

8. 「東海iNET報告会」「第2回地域連携研修会」を開催します
~文部科学省産学官連携戦略展開事業(戦略展開プログラム)~

日時 2010年2月19日(金) 13:00~19:00
会場 浜松名鉄ホテル 4階 芙蓉の間
主催 文部科学省、静岡大学、豊橋技術科学大学
プログラム
◆第2回地域連携研修会 13:00~15:00
1. 報告 平成21年度産学官連携戦略展開事業における調査研究
「企業から見た大学との産学官連携及び共同研究の評価分析」
静岡大学 イノベーション共同研究センター学術研究員 関雄二
2. 報告 「産学官連携への静岡大学の展望」〔仮題〕
静岡大学 理事、副学長、知的財産本部長 中村高遠
3. 講演 「地域産業振興のための産学官連携への期待」
(株)エフ・シー・シー 常務取締役 石川恵一氏
◆東海iNET報告会 15:20~17:40
1. 開会挨拶
豊橋技術科学大学 副学長、産学連携推進本部長 石田誠
2. 講演 「今後の産学官連携の展望」〔仮題〕
文部科学省 研究振興局研究環境・産業連携課
3. 講演 「社会貢献につながる人材の育成」〔仮題〕
静岡大学 情報学部長 伊東幸宏
4. 地域連携の取組み(事例)の報告
静岡県立大学 名誉教授、知的財産コーディネータ 園部尚
浜松医科大学 知財活用推進本部知財活用コーディネータ
小野寺雄一郎
沼津工業高等専門学校 地域共同テクノセンター
副センター長 藤尾三紀夫
豊田工業高等専門学校 地域共同テクノセンター長 塚本武彦
5. 東海iNET成果(事例)の報告
静岡大学イノベーション共同研究センター長 木村雅和
豊橋技術科学大学産学連携推進本部本部長補佐 田中三郎
6. 閉会挨拶
■情報交換会 18:00~19:00 (参加費4000円)

定員 100名

参加費 無料 (情報交換会に参加される方は、参加費4000円)
申込締切 2月16日(火)
申込方法 下記の静岡大学産学連携WEBよりお申込みください。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no78.html>
問合せ 静岡大学イノベーション共同研究センター
TEL 054-238-4631 FAX 054-238-3018

《 静大ラボ紹介 -10- 》

工学部共通講座 平川和貴研究室

活性酸素というと皆さんは体に悪いものというイメージがあるのではないだろうか。確かに、煙草の煙には活性酸素がたくさん含まれガンになる原因の1つと言われている。

この悪者扱いされている活性酸素をうまく利用するための研究をしているのが工学部の平川和貴先生である。

光線力学的療法(PDT)と呼ばれるガンの治療法をご存じだろうか。ポルフィリンという化合物を血管内に注射するとガン細胞に集まり、そこに光を当てると活性酸素を生じる。この活性酸素でガン細胞を退治するという治療法である。PDTは切ったり縫ったりすることがなく体に優しい治療法である。しかし、ガンの病巣を完全に退治できないという問題がしばしば発生している。ガン細胞の周辺に酸素が少なく、発生する活性酸素の量も制限されるため病巣が完全に退治されない。

そこで平川先生は、体内の酸素濃度に依存しない病巣の退治方法を考案した。ポルフィリンにリンを導入したリンポルフィリンと呼ばれる化合物を使いPDTを行うと、活性酸素による効果に加え、リンポルフィリンが病巣から電子を引き抜き、活性酸素と同じような酸化作用を示す。

「1粒で2度おいしい」ガン細胞への攻撃方法である。現在は生体外での試験を行っている段階であるが、リンポルフィリンが手術にとって代わる日が来るかもしれない。
(記：伊藤悟)

《 みんなのコラム 》

明けましておめでとうございます。

今迄、自然エネルギー環境を主体としたプロジェクトに集中してきましたが、ようやく国としてもその方向性を打ち出し始めました。私は以前から国の「新エネルギービジョン策定」等に関わり、次世代エネルギーパーク等を推進しています。

以前、全学共同で取組める「ファクター10」(※注)の建物づくり(次世代照明、空調、蓄電、ゴミ処理(亜臨界)、IT制御、等々)を静岡大学の最先端技術でモデルハウス化しようと提言しましたが、そろそろこのようなショールームを校内(又は市内)に作り、ネット発信できたらいいなと思っています。

今年は、亜臨界装置の自治体への導入等も現実味を帯びてきました。今、各地の月1回程度の講演で、静岡大学の技術等を紹介する喜びに浸っています。

※注)ファクター10：環境・エネルギー負荷を1/10にする技術
(記：IJRC客員教授 堀内道夫)

《 編集後記 》

2010年1月5日、イノベーション共同研究センター(IJRC)では、木村センター長の年頭挨拶があり、静岡大学の産学連携活動を担うイノベーション共同研究センター、知的財産本部、学術情報部産学連携チームの総勢40数名が一同に会し、今年度の活動と将来構想を確認しました。

今年のIJRCのキーワードは、「和と挑戦」。

昨今、非常に厳しい経済情勢が続いていますが、地域との産学連携、ベンチャー経営支援、プロジェクト支援を3本柱に、これからも静大の知の成果を社会で活用いただけるよう積極的な活動を続けて参りますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・購読中止のご連絡は、sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp まで
お願いします。(↑送付の際は○欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター (IJRC)

編集：原典子

編集責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1414

URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

by Copyright(c)2008-2009 Innovation and Joint Research Center,
Shizuoka University. All rights reserved